

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 柔道整復師学科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義 |
|--|-----------------------|--|---------|---|---------------------------------|---------------|
| 科 目 名 | 基礎柔道整復学・概論VI | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 60 (4) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 3年生 | | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | 第2校舎203 |
| 担 当 教 員 | 仲村剛・福土暁也・岩村一成・澤卓実・林了大 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 軟部組織損傷に関する知識を総合的に習得する。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 定期試験課題100% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集) 柔道整復学実技編(全国柔道整復学校協会編集) | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 毎回の講義後, 配布プリントとノートを見直しておくこと。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 理解できなかった部分や不明な点については必ず質問にくること。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 授業を通じての到達目標 | 体幹の損傷総論① | | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | 各自で前学年次の総合的な振り返りを行うことが必要である。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 体幹の損傷に対する柔道整復師の診察① 病態、受傷機転・発生機序、鑑別診断、評価・整形外科的検査法、患者への説明 | | | | |
| 第2回 | 授業を通じての到達目標 | 体幹の損傷総論② | | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | 振り返りから、目標を選定する為に現状把握が必要である。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 体幹の損傷に対する柔道整復師の診察② 病態、受傷機転・発生機序、鑑別診断、評価・整形外科的検査法、患者への説明 | | | | |
| 第3回 | 授業を通じての到達目標 | 体幹の損傷総論③ | | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | 前学年時に履修した各科目の内容確認が必要となる。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 体幹の損傷に対する柔道整復師の診察③ 損傷改善のための処置、治療法、治療計画 | | | | |
| 第4回 | 授業を通じての到達目標 | 体幹の損傷総論④ | | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | 学年時における履修内容を踏まえて、本年時の履修内容を確認する。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 体幹の損傷に対する柔道整復師の診察④ 機能改善のための治療法 | | | | |
| 第5回 | 授業を通じての到達目標 | 頭部・顔面の損傷① | | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | 各テキストの確認を行なう。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 頭部・顔面部の軟部組織損傷に対する柔道整復師の診察① 病態、受傷機転・発生機序、鑑別診断、評価・整形外科的検査法、患者への説明 | | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|--|---|------------------------------------|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 頭部・顔面の損傷② | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | 各テキストの確認を行なう。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 頭部・顔面部の軟部組織損傷に対する柔道整復師の診察② 病態、受傷機転・発生機序、鑑別診断、評価・整形外科的検査法、患者への説明 | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 頭部・顔面の損傷③ | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 頭部・顔面部の軟部組織損傷に対する柔道整復師の診察③ 損傷改善のための処置、治療法、治療計画 | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 頭部・顔面の損傷④ | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | 各テキストの確認を行なう。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 頭部・顔面部の軟部組織損傷に対する柔道整復師の診察④ 機能改善のための治療法 | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 頸部の損傷① | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | 各テキストの確認を行なう。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 頸椎部の軟部組織損傷に対する柔道整復師の診察① 病態、受傷機転・発生機序、鑑別診断、評価・整形外科的検査法、患者への説明 | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 頸部の損傷② | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | 各テキストの確認を行なう。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 頸椎部の軟部組織損傷に対する柔道整復師の診察② 病態、受傷機転・発生機序、鑑別診断、評価・整形外科的検査法、患者への説明 | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 頸部の損傷③ | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | 各テキストの確認を行なう。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 頸椎部の軟部組織損傷に対する柔道整復師の診察③ 損傷改善のための処置、治療法、治療計画 | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 頸部の損傷④ | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 頸椎部の軟部組織損傷に対する柔道整復師の診察④ 機能改善のための治療法 | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 胸部の損傷① | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | 各テキストの確認を行なう。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 胸部の軟部組織損傷に対する柔道整復師の診察① 病態、受傷機転・発生機序、鑑別診断、評価・整形外科的検査法、患者への説明 | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 胸部の損傷② | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | 各テキストの確認を行なう。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 胸部の軟部組織損傷に対する柔道整復師の診察② 病態、受傷機転・発生機序、鑑別診断、評価・整形外科的検査法、患者への説明 | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 胸部の損傷③ | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | 各テキストの確認を行なう。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 胸部の軟部組織損傷に対する柔道整復師の診察③ 損傷改善のための処置、治療法、治療計画 | | |

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 柔道整復師学科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義 |
|--|-----------------------|-----------------|--|---|------------------------------------|---------------|
| 科 目 名 | 基礎柔道整復学・概論VI | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 60 (4) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 3年生 | | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | 第2校舎203 |
| 担 当 教 員 | 仲村剛・福土暁也・岩村一成・澤卓実・林了大 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 軟部組織損傷に関する知識を総合的に習得する。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 定期試験課題100% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集) 柔道整復学実技編(全国柔道整復学校協会編集) | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 毎回の講義後, 配布プリントとノートを見直しておくこと。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 理解できなかった部分や不明な点については必ず質問にくること。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第16回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 胸部の損傷④ | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 胸部の軟部組織損傷に対する柔道整復師の診察④ 損傷改善のための処置、治療法、治療計画 | | | |
| 第17回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 胸部の損傷⑤ | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | テキストの確認を行なう。必要に応じて実技編の教科書確認が必要となる。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 胸部の軟部組織損傷に対する柔道整復師の診察⑤ 機能改善のための治療法 | | | |
| 第18回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 腰部の損傷① | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | テキストの確認を行なう。必要に応じて実技編の教科書確認が必要となる。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 腰部の軟部組織損傷に対する柔道整復師の診察① 病態、受傷機転・発生機序、鑑別診断、評価・整形外科的検査法、患者への説明 | | | |
| 第19回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 腰部の損傷② | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | テキストの確認を行なう。必要に応じて実技編の教科書確認が必要となる。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 腰部の軟部組織損傷に対する柔道整復師の診察② 病態、受傷機転・発生機序、鑑別診断、評価・整形外科的検査法、患者への説明 | | | |
| 第20回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 腰部の損傷③ | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | テキストの確認を行なう。必要に応じて実技編の教科書確認が必要となる。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 腰部の軟部組織損傷に対する柔道整復師の診察③ 損傷改善のための処置、治療法、治療計画 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|---|---|------------------------------------|
| 第21回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 腰部の損傷④ | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | 各テキストの確認を行なう。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 腰部の軟部組織損傷に対する柔道整復師の診察④ 損傷改善のための処置、治療法、治療計画 | | |
| 第22回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 腰部の損傷⑤ | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 腰部の軟部組織損傷に対する柔道整復師の診察⑤ 機能改善のための治療法 | | |
| 第23回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 背部の損傷① | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | 各テキストの確認を行なう。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 背部の軟部組織損傷に対する柔道整復師の診察① 病態、受傷機転・発生机序、鑑別診断、評価・整形外科的検査法、患者への説明 | | |
| 第24回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 背部の損傷② | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | 各テキストの確認を行なう。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 背部の軟部組織損傷に対する柔道整復師の診察② 病態、受傷機転・発生机序、鑑別診断、評価・整形外科的検査法、患者への説明 | | |
| 第25回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 背部の損傷③ | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 背部の軟部組織損傷に対する柔道整復師の診察③ 損傷改善のための処置、治療法、治療計画 | | |
| 第26回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 背部の損傷④ | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | 各テキストの確認を行なう。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 背部の軟部組織損傷に対する柔道整復師の診察④ 損傷改善のための処置、治療法、治療計画 | | |
| 第27回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 背部の損傷⑤ | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | 各テキストの確認を行なう。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 背部の軟部組織損傷に対する柔道整復師の診察⑤ 機能改善のための治療法 | | |
| 第28回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用① | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | 各テキストの確認を行なう。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 各部位ごとの軟部組織損傷に対する柔道整復師の診察① 病態、受傷機転・発生机序、鑑別診断、評価・整形外科的検査法、患者への説明、損傷改善のための処置、治療法、治療計画 | | |
| 第29回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用② | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 各部位ごとの軟部組織損傷に対する柔道整復師の診察② 損傷改善のための処置、治療法、治療計画、機能改善のための治療法 | | |
| 第30回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | まとめ | 配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書) | 各テキストの確認を行なう。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 全範囲の総復習 | | |